詞、大和歌

ゆきみ小桃

目次

概要
詞のりと、詩

詞 1

詞 2

詞 3

詩
大和やまと歌、短歌

大和歌...... 1

大和歌...... 2

大和歌...... 3

大和歌...... 4

大和歌...... 5

大和歌...... 6

大和歌…… 7

大和歌…… 8

大和歌…… 9

大和歌……10

大和歌……11

大和歌……12

短歌

概要

他の創作の作品に収録予定の内容を、まとめました。

詞のりと、詩

　詞１

■男性側の詞

白堊はくあの雪と霧に包まれ隠された
　神秘の存在
悪鬼に負けず、挫けない強き御方
いつか逢えると苦々しい望みと
　永久とわの火を我が心に灯し、生きて往く
——必ず、生きて君を擁く
　恋い焦がれる我が妻よ
我が魂の欠片は、天ノ雷として矢となりて、
神蟲に落ち宿り、狛こまとなる
　我が妻を護る仁蟲を創るため
神よ、絶え間ない雨田あめだ降りを与え給え
　幾千年も、我が妻を夫として護り続ける

　　　◇　◇　◇

■女性側の詞

漆黒よりも深き暗闇の道に挑む
　力強き信念で私を想う人
暗黒の終熄が視えずとも、諦めずにいた御方
まだ、貴方を知らない私は
　貴方の暖かな支えを感じて闘いぬく
——必ず、生きて、貴方の腕かいなの中に

　夢にも懐いだく、私の夫よ

私の想いは天地に轟き、高尚な物を壊し

世界を奮わせ、光となる

散りばめられた私の欠片たちよ、力を与え給え

　幾万年も、私の夫の想いを刻むため

詞２

■男性側の詞

天上界より、地に降り立ち
　天津神の我が妻
　　曇天を砕き、地を震わす
千の願いの雷電らいでん
聖なる玺宮玺アクアよ
——篤愛とくあいを捧げる、我が妻
　この身が朽ちても、君を護り続け
我が剣は、悪鬼どもを滅ぼし
　猛火を迎え撃つ。
最愛の我が妻。私の命よ。
　夫として、妻である君を擁き
君との、刻ときを生きる

◇　◇　◇

■女性側の詞

八千代やちよの秋津国あきつくに
　武神の我が夫
霆いかづちは大地に轟き、
唐辰とうたつの音調により
　神界しんかいノ樹々じゅじゅは覚醒めざめる。
——神しん獅子ししである、愛しい我が夫

君の天詞てんしここに在り、
　刻々と恵みの雨を降らせ。
弓ノ音ねは、昊そらを崩し
月より、悪鬼どもに神かみノ槍を落とす。
君に守護あること、祈り。
我の祝い詞うた、君に捧ぐ。

　詞３

■男性側の詞

とわの伴侶であり、私の命
　我が至宝、神々の神秘
尊崇の妻ひと
君と愛あいし日の激情と熱を想い出し
健気な君を抱き締め、唇を重ね。
——君との愛の形を創り、君と生きる。
　神よ。天よ。
私の天使である御方を、
この世界にとどめることを、赦し給え。
万軍の御霊みたまが勇み立つ、我が妻
　ゆるがない我が意思。私の想い人。

◇　◇　◇

■女性側の詞

やむことのない愛情の人
　我が魂魄が還る御方
最愛の夫ひと
復活の息吹の日のことを想い出し
その手を取り、微笑み。
——貴方の愛と夢を、そそがれ。貴方と生きる。
　終息の日であろうと、

私の救いである主人と歩み。
ともに生き。ともに眠ることを、神よ、赦し給え。
愛いとし君と繋ぐ天津あまつ神かみの絹糸
　結ばれた、私の伴侶。

　詩

■男性側の詩

紺色の夜空に
月蝕げっしょくの輪が踊る
恋詠こいよみの導きの尊みこと
銀河の涙は古陵こりょうを辿り
杜もりの栄華を蘇らせる我が妻よ
長き昏れは、君の一夜の夢
桃の雫のもとで花となり
我が刻む、最愛なる神鳥かみとりの証

◇　◇　◇

■女性側の詩

緋色の夜明け
君と見た夜半の幻月げんげつ
熱情の想いを注ぐ運命の貴方
軌跡を巡る儚げな月ノ船
幻国の都へと導く我が夫よ
長き戯れは、君との慈しみ
融とけた蜜蝋の封印
その雄姿で結ぶ、覺かくの淡い声

大和やまと歌、短歌

大和歌…… 1

男性側

君想い

冷雨れいうに目覚め

彷徨さまよい火び

とわの我が妻

旭あさひ雪月ゆきつき

女性側

愛し君

久遠くおんの夫

天てんの神子みこ

身が朽くちようと

魂霊こんれい求む

大和歌…… 2

男性側

　真朱まほそノ緒　※

　呂色ろいろの夜よるに

　妻想い

　虚うつろ蝕むしばみ

　亡き誓い

※訳…真っ赤な槍先

女性側

　傍かたわらに

　昊そらと紅月あかつき

　我が夫

　冷暗の路みち

　堕ちても愛あいし

大和歌……3

男性側

情愛の

真名しんめいの君

歩む人

天津神あまつかみノ樹き

祈りの系譜けいふ

女性側

天命てんめいの

伴侶の御方

真名まな刻む

結びの神樹しんじゅ

確かな契り

大和歌……４

男性側

妻求め

繋ぐ我が意思

神ノ國

最愛の君

幾度も想う

女性側

此処ここに在あり

神かみ辰砂たつしゃの日

主しゅノ御國みくに

腕かいなに擁いだく

貴方の夢

大和歌…… 5

男性側

我が希望

両瞳りょうめで囚え

夢現むげんノ日

目覚めずの君

名を呼び奮え

女性側

儚げな

欠片の記憶

君の熱

頬をなでる掌て

忘却ノ楯

大和歌……６

男性側

神ノ鳥

隠し愛めでて

髪に触れ

三つ夜を重ね

さらに愛いとしき

女性側

三重の雲　※

ゆだねて吐息といき

響く声

はるかな願い

君との月夜つきよ

※訳…三つ（蜜）重ねた雨（飴）で

伝え、かなり甘い。

大和歌…… 7

男性側
鏡ノ世
影に呑のまれる
この想い
折れない心
願い簪かんざし

女性側
散る幼気ようき
哀あいの羊に
救いあれ
落ちども亡き葉
涙の泉

大和歌……８

男性側

瞬まばたきの

とろけた熱と

重ねた手

神霊しんれいの君

懐いだく懇願こんがん

女性側

御霊みたまふれ

若わかノ樹霊じゅれいを

見守り火ひ

幾千年の

後継こうけいの告こく

大和歌……９

男性側

紫苑しおにの芽

地に有り宝たから

天ノ蟲

君との結晶

神しんの守しゅの牙きば

女性側

日輪ひわの玉ぎょく

虎白コハクノ王樹おうじゅ

覇王剣

太古の雫しずく

御領ごりょうの守部もりべ

大和歌……10

男性側

使徒しとの宮

神鳥かみとりの舞

宇う龍神りゅうかみ

百世ももよに炭火すみび

天司てんしに千歳ちとせ

女性側

君の守護

万物ばんぶつの杜もり

八重やえ神火しんか

地祇ちぎへと秘水ひすい

天河てんがに神楽かぐら

大和歌……11

男性側

凍る刻とき

三千年の

龍りゅう天子てんし

聖灰せいはいノ赫あか

我が妻牙王さいがおう

女性側

定め刻とき

万象として

傍かたわらに

雲出づる灰

祇くにつかみノ火ひ

大和歌……12

男性側

我が基もとと

君に捧げる

神徒しんと團

執念の夢

妻との契り

女性側

迷い子しの　※

来る日ひの比べ　※

神系しんけい圖ず　※

在天ざいてんの君

我還り待ち

※※※訳…来孫昆孫、

神ノ糸（神の意図）と圖り（秤、ロト廻）

短歌

男性側

唐辰からたつの
秘め君きみの声
我求め
絹糸きぬいとの弦つる
宙そらの皇すめらぎ

女性側

うつし世に
彷徨さまよう我の
守り主ぬし
涸からたち神世かみよ
月夜の調しらべ

詞、大和歌

発行日　　2026年４月10日
著　者　　ゆきみ小桃
発行元　　東瀛篤國（とうえい あつくに）